<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

“持続可能な発展”は21世紀の地球、人類、企業にとって最重要課題です。
富士フイルムグループは、製品・サービス、事業プロセスのすべてにおいて、気候変動への対応、資源循環の促進、化学物質の安全確保、地域の環境保全、生物多様性の保全に取り組むことで、“持続可能な発展”に貢献します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	環境負荷の軽減 → 電子契約へ切替え(ペーパーレス化)	電子契約化率 2023年 44.3% → 2026年 60.0%
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	エネルギー対策 → ガソリン使用量の低減	社用車のガソリン使用量の低減 2023年 86,199ℓ → 2026年 81,889ℓ
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	ボランティアへの参加 → 朝の清掃活動	会社周りの清掃を毎朝実施 2023年 実施 →2026年 継続実施

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

私たちは地域社会の一員として各々のステークホルダーと協力し、製品・サービス・事業プロセスのすべてで環境課題解決に向けた活動を推進します。また、従業員一人ひとりの状況に応じ、働きやすい職場環境の改善を図っていきます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	温暖化対策 → 自社のCO2排出削減	CO2年間排出量の削減 2019年30%→2023年38% (ただし2013年度比)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・(全体)製品ライフサイクルの見直し:再利用/製品開発等 ・(全体)従業員への教育および周知の徹底:環境課題等 ・(支社)事務所のLED化および車両利用の低減等	CO2年間排出量の削減 → 2023年 43.5% (達成率:114.5%)◎
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	エネルギー対策 → ガソリン使用量の低減	社用車のガソリン使用量の低減 2019年100,485ℓ → 2023年92,684ℓ
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・共有車化による減車(▲7台) ・車内の過積載禁止の徹底(燃費UP) ・電気自動車の導入(1台)	社用車のガソリン使用量 → 2023年 86,199ℓ (達成率:107.5%)○
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	ワークライフバランスの推進 → 時間外労働時間の削減(管理職含む)	1人あたり月平均時間の削減 2019年20.2時間 → 2023年18.2時間
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	未達成の理由:コロナ明けによる行動量の活発化、それに伴う景気回復(商談の増加)等により、「ノー残業day」「在宅勤務」等の取り組みが不十分であった。 (参考:2020/11.1h、2021/15.7h、2022/19.7h)	1人あたり月平均時間の削減 → 2023年 21.9時間 (達成率:83.1%)△

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**